

2024

3 / 16

Sat.

はじめての 聞香体験

Let's try Monko

心を澄まし

香りで遊ぶ

雅なひととき



と き：令和6年3月16日（土）

午前の部：午前10時30分～ / 午後の部：午後1時30分～（各回1時間半程度）

と ころ：旧鈴木家住宅（豊田市足助町本町20）

定 員：各回15名（抽選、小学5年生以上）

参加費：1人3,000円（当日支払い・現金のみ）

申込み：2月1日（木）～2月29日（木）の間にあいち電子申請・届出システムから →
抽選結果は3月6日（水）までにメールで通知（1回の申込で4名まで申込可、一人1回まで）

主 催：豊田市文化財課足助分室 tel：0565-62-0609（平日8:30～17:00）

mail：bunkazai-asukebunshitsu@city.toyota.aichi.jp

協 力：徳川美術館

こちらもぜひ！

徳川美術館 特別展
尾張徳川家の雛まつり
2/3（土）～4/3（水）

尾張徳川家伝来の雛人形・雛道具
を中心に、大名家ならではの豪華
で気品ある雛の世界をご紹介します。



国指定重要文化財

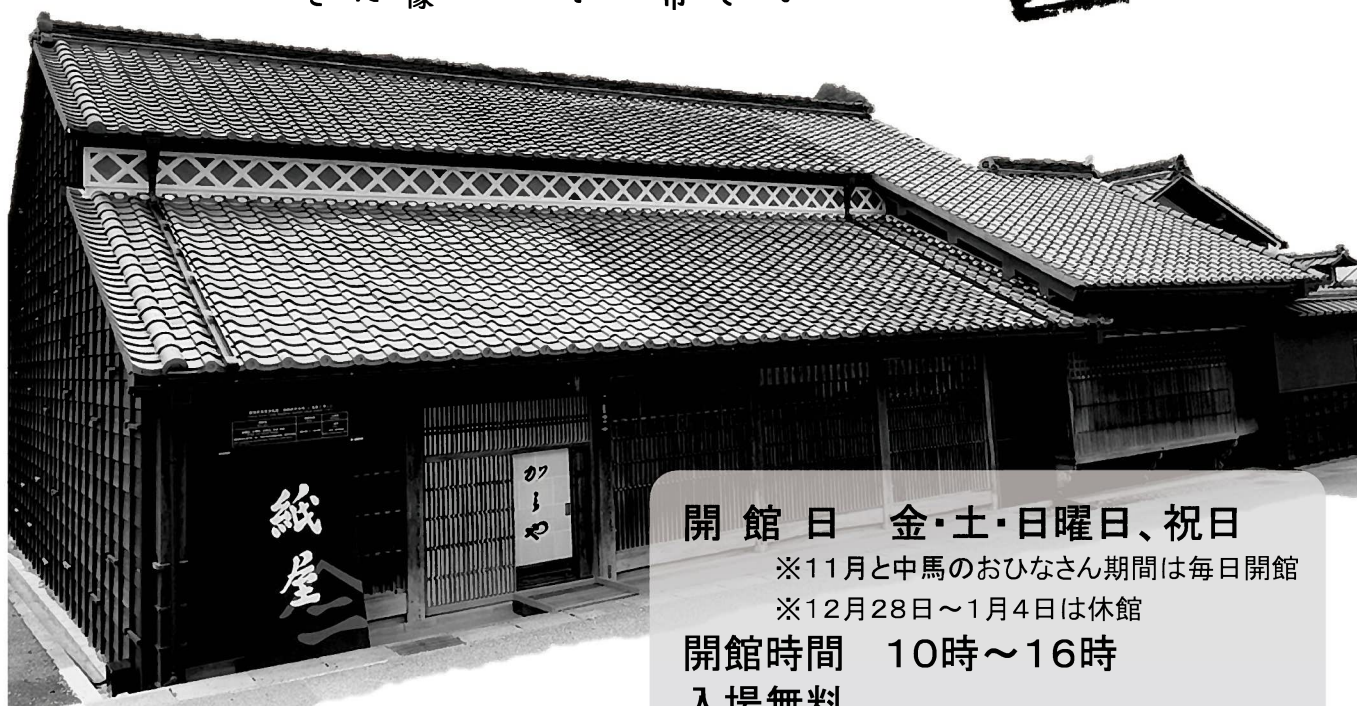
旧鈴木家住宅

公開部分は、安永五年（一七七六）に建てられた築二四〇年余になる街道沿いの主屋。かつて足助の大商家であった鈴木家がここで長い年月を過ごしてきました。建物は豊田市に寄贈され、重要文化財として復原し、みなさんにご覧いただける建物として、新たな時を紡ぎ始めます。

古材が醸し出す歴史的な空間を体感したり、江戸や明治の時代の商いや暮らしを想像したり、匠の技による修理の痕跡を見つけたりと、それぞれの楽しみ方でお過ごしくださいませ。



詳しくは
豊田市
ホーム
ページで



開館日 金・土・日曜日、祝日

※11月と中馬のおひなさん期間は毎日開館

※12月28日～1月4日は休館

開館時間 10時～16時

入場無料

所在地 豊田市足助町本町20



紙屋鈴木家

鈴木家は、屋号を「紙屋」といい、15代続いた大商家です。初代は江戸時代中期に足助に移住してきたとされています。屋号「紙屋」の由来の明記はありませんが、紙や紙に関わる商売に携わっていたことは確実です。その他にも味噌や漆などを扱う問屋業、後に金融業や土地経営などで財をなした足助を代表する商家でした。

歴代当主は、茶道や香道、和歌、俳諧などをたしなみ、足助の地域文化の重要な担い手でもありました。



旧鈴木家住宅の価値

約4,000㎡（テニスコート約15個分）の大規模な敷地に、江戸から明治時代に建てられた建物16棟が重要文化財に指定されています。全国の重要文化財の町家360件のうちで、2番目に多い棟数！江戸から明治時代にかけて大規模商家に発展した過程が、各時代の建物でよくわかります。